

# 令和7年12月に発生した農作業死傷事故

## 2月のワンポイント

### 農林水産省HP等による公表

タイトル：  
ヒヤリハットを共有しましょう！

## 12月に発生した農作業死傷事故 2月のワンポイント

### 令和7年度重点推進テーマ

「学ぼう！正しい安全知識

～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、  
未熟練農業者への研修実施～

### <12月に発生した農作業死傷事故:15件>

#### うち農業機械作業に係るもの:10件

- 12月は8件の死亡事故を含む15件の死傷事故が報告されました。
- この中には、畑の下草を焼却中に炎が着衣に燃え移り焼死する事故が1件発生しています。
- 気象庁によると、今年の冬は、東日本太平洋側や西日本の広い範囲で、降水量がかなり少ない状況になっています。特に東海、近畿太平洋側、四国、九州南部の12月末からの4週間の降水量は、この時期として30年に一度程度の顕著な少雨となっています。今後1か月程度は、まとまった降水にはならない見込みです。今後も特に乾燥や強風注意報等が発表されている時は、着衣や周辺に延焼する可能性もあることから焼却しないという選択も考えましょう。
- また、12月は詰まりの除去などの機械の調整をエンジンを止めないまま実施することにより、機械に巻き込まれるなどの事故が発生した事例が3件ありました。
- これから春作業に向けて、詰まり除去や機械の清掃・点検作業を行う機会が増えると思いますが、これらの作業を行う際には、必ずエンジンを停止し、作業部の停止を確認した上で行いましょう。

### <2月のワンポイント>

- 昨年12月から続く「農作業安全研修実施強化期間」も2月が最終月です。研修に参加されていない方は、各地域で開催されている研修会にぜひ、ご参加ください！
- 都合がつかず参加が難しい方は、テキストの中の「農作業安全クイズ」に挑戦いただき、解説と併せて確認することで安全知識を深めましょう。  
(啓発資料リンク) [クイズ\(トラクター・刈払機\)](#)、[クイズ\(トラクター・コンバイン\)](#)、[解説](#)
- 研修で安全知識について学んだあとには、家族、従業員、お近くの農業者の方々と一緒に、「ヒヤリハット」の共有を行いましょ。
- ヒヤリハットの共有をすることで、自分だけでは気づけなかった危険個所に気づくだけでなく、日頃から危険個所を探すなどの安全意識向上につながります。春の農作業が本格化する前に、話し合いの機会を設けてみましょう。

### 「ヒヤリハット」共有

#### 1 事例を洗い出しましょう！

作業や農業機械の種類ごとに、5W1H(いつ、どこで、だれが、何をしたら、どうなった)を意識し、事例を書き出しましょう。

例

倉庫で従業員の一人がトラクターの点検をしている時に、作業機に潜り込んで作業し、頭をぶつけた。



#### 2 原因と対策を考えましょう！

①人的要因②環境③機械や用具④作業方法ごとに、原因と対策を考えてみましょう。

例

- ①ヘルメットをかぶっていないかった
- ②倉庫の照明が暗く、点検箇所が良く見えなかった
- ③作業機の突起箇所にカバーがなかった
- ④十分に作業機の位置を高くあげていなかった

#### 3 すぐに実行しましょう！

すぐに対策できるものから取り組みましょう。

例

- 作業時にはヘルメットをかぶる
- 点検時には、作業機を高い位置に上げ、スタンド等で固定してから作業する
- 突起箇所のカバーを購入する
- 倉庫の電球を更新する

